



第三回 研究発表大会

第一次案内

R8.11.14.土

8:30 » 12:40

開催場所

和歌山市立 伏虎義務教育学校

研究発表大会内容

自ら問い、自ら考える子どもを育てる小中一貫教育の在り方
～自己調整を促す振り返りを軸にした授業づくり～

①

1～9年生全学年
公開授業

義務教育学校ならではの校種の垣根を超えた授業をご参観ください。

②

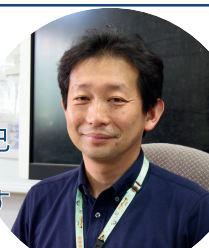
研究授業・協議会

ホップ期・ステップ期・ジャンプ期の3期で3教科提案します。協議会もぜひご参加ください。

③

講演会：木村 明憲先生

桃山学院大学准教授木村明憲先生に「自己調整学習」についてご講演いただきます。子どもたちが主体的に学ぶためにはどうすればよいのか...一緒に学びましょう。



申込方法 申込みフォーム
<https://forms.gle/hsqXFHkimfP1HVgV9>

申込締切 2026年11月13日(金)

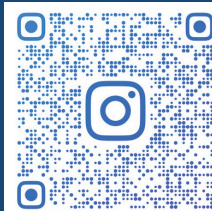
申込みフォームはこちら



Instagramを開設しました!!

大会の情報や、学校の取り組みなどをアップしています。

登録はこちら



和歌山市立伏虎義務教育学校

平成29年4月1日、本校は和歌山県で初めての義務教育学校として開校しました。義務教育修了時の15歳の姿をしっかりと描きながら、各学年、各期での教育活動を計画的、また組織的に展開し、学校教育目標「心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成」の実現に向け取り組んでいます。

今までの取り組み

令和5年度 プレ研究発表大会

研究主題である「自ら問い、自ら考える子どもを育てる小中一貫教育の在り方」の実現に向け、受動的な子どもたちに対し「～批判的思考を通じた自己表現～」をサブテーマに設定しました。各教科で部会をつくり、授業づくりを考えていく…これが私たちの研究発表大会のはじまりです。初めての大会では、1年生算数科、5年生外国語活動、8年生社会科の研究授業を行いました。

令和6年度 第一回研究発表大会

サブテーマについてさらに迫るため、「非認知能力」が専門の元岡山大学准教授・All HEROs合同会社代表である中山芳一先生の指導のもと研究を進めました。非認知能力を育てるためのモデル「〇〇タイガー」を作成するなど、「非認知能力の側面から考える授業づくり」に取り組みました。この年の大会では、3年生道徳科、7年生英語科、8年生理科の研究授業を行いました。

令和7年度 第二回研究発表大会

昨年度に引き続き、中山芳一先生の助言をいただきながら研究を進めました。「感情曲線」を子どもの振り返り活動に取り入れたり、校内で授業交流会を積極的に実施するなど、これまでの研究をさらに深めることを目標に取り組みました。

この年の大会では、2年生生活科(学級閉鎖のため研究報告会を後日実施)、7年生体育科、9年生国語科の研究授業を行いました。

今回の研究発表

令和8年度 第三回研究発表大会

昨年度までの子どもの様子から、「自ら」考え、「表現する力」を伸ばしていく必要性を感じました。そこで、今年度「自己調整」の視点を取り入れ、サブテーマを「自己調整を促す振り返りを軸にした授業づくり」としました。

研究を進めるため、桃山学院大学の木村明憲先生の助言をいただいています。教員全員が足並みを揃えて、「振り返り」活動を授業づくりの軸として取り組んでいる姿をご覧ください。

令和8年度研究授業者紹介

算数科 第2学年 手塚 沙菜恵

…毎日笑顔があふれる活気あるクラスです！元気に発表する子どもたちの姿を見てください。

国語科 第6学年 田村 竜士

…互いに尊重し意見を出し合うことができるクラスです。自己調整力を高めるための授業づくりをご覧ください。

社会科 第9学年 大城 悠

…義務教育学校の集大成です。社会という教科を通して子どもたちの成長した姿をご覧ください。



和歌山市立伏虎義務教育学校



〒640-8047 和歌山市鷺ノ森南ノ丁1番地



前期 073-435-5115 / 後期 073-435-5116



www.wakayama-wky.ed.jp/fukko/